

マシユー 心残りはない。弟達とも話せたしお袋にも愛していると云えた。さよならを言うのは嫌だった。出来ればまた電話するって言っといたけど

ヘレン どうしたの話して

マシユー ビツテロみたいな奴と付き合わせたのが良くなかったってお袋は言うけど、それは違う、お袋は何も悪くない。あんたの言うようにあの場を立ち去ろうと思えば出来たはずだ。でも、出来なかった。どうしようもない臆病者だ。ビツテロはかくて、タフで、酒の勢いで張り合おうとしたけど。さからう度胸はなかった。だからオレのせいじゃないってお袋は信じてる。

ヘレン お母さんはあなたを愛しているのよ

マシユー あの男、ウォルターか

ヘレン ええ、どうしたの

マシユー オレが殺した。

ヘレン (息を飲む) ホープも

マシユー オレじゃない

ヘレン レイプは

マシユー やった

ヘレン あの2人の死に責任を感じている。

マシユー 感じてる。夕べ寝る前にひざまずいてあの2人のために祈ったよ、生まれて初めてだ。

ヘレン ああ、マシユー、神の手よ真の悲しみを癒したまえ。あなたはほんとに恐ろしい事をした、でもそれを告白した。あなたは人間としての尊厳を持って死ねるわ、マシユー・ポンスレット、あなたは今、神様の子になったのよ。

マシユー 神様の子なんて初めて言われた。メス犬の子ってのはよく言われてたけど。俺が死ぬ事で2人の親達の慰めになって欲しい。

ヘレン あなたには残された親御さん達の心の平和を祈ることが出来るのよ

マシユー オレは本当の愛を知らない。本気で女を愛した事もなかった。死ぬ間にやっと愛を知ったよ。俺を愛してくれてありがとう。時間が経つのが早いな 寒い

ヘレン 寒いんですってジャケットか何かありませんか

マシユー 歌を聴かせてくれるって言うていただろう

ヘレン 賛美歌

マシユー ああ、

ヘレン 音楽は駄目って規則があるんですって テープを流す事は出来ないの

マシユー あんだが歌うのはいいんだろう

ヘレン 上手じゃないの

マシユー 歌ってくれ頼む

ヘレン 嵐ふく海にも溺れることなく、燃え盛る炎に焼かれるも事なし、地獄の淵に立た  
され死が迫るとき我そばにいて守らん 恐れるな あとに続く者に我は与えん  
とこしえの安らぎを

マシユー ありがとう

看守 シスター廊下に出てください

(彼の前から立ち去る。マシユー 一人になりむせび泣く)